



# 元気アップ通信

2015年2月5日 第29号

## 私学専願受験者の個人面接指導をおこないました

1月28日～30日の計3日間、私学入試個人面接指導をおこないました。すでに校長先生によるグループでの面接指導は行われておりますが、今回は図書準備室を使い、本番と同じく、ノックをして→ドアを開け→椅子に座る所からスタートし、質問が終わり→ドアを閉める所までをチェックします。ひと通り質問が終わってから、面接官役の方から、気になった点や、アドバイスを頂きます。「志望理由をもう少し具体的にしては?学校見学に行った話をまじえて話してみたらどうかな?」や「質問の内容はシッカリ答えられているから、もう少し大きな声で答えるようにしては?」、「分からぬ質問は“分かりません”って答えていいんだよ。」など、面接官役の方は本番を控えた生徒さんが緊張し過ぎないように言葉を選んでアドバイスされていました。

面接後は振り返りが出来るように、ポイントとなる8項目(身だしなみ・姿勢など)のチェック結果と、面接官役の方から頂いたアドバイスをまとめて、本人に渡します。

皆さんが「面接ってなんか緊張する・・」「不安だなあ・・」と思うのは当然です。誰だって(大人だって)目上の人には自分のことを聞かれれば緊張します。しかも面接会場という非日常的な空間であればなおさらです。だからこそ本番に「この高校に行きたい!」という想いが伝えられるよう  
に準備しましょう!! 高校面接の面接官は質問に対する答えもですが受験生の態度・表情・動作などから総合的に評価されます。面接官は今まで多くの受験生を見ています。真面目に誠実に答えようすれば、それはそのまま面接担当者に伝わるものです。今回の面接練習で、皆さんの「高校生活でやりたい事」や「将来の夢」を聞かせてもらいました。面接官役をお願いしたボランティアさんからは「自分が中学生の時に将来の事をこんなに考えていたかなあ~。素晴らしいね」とお褒めの言葉をいただきました。それが思い描く高校生活や将来を目指して、自信を持って試験に臨んで下さい。

今回、面接官役のため、

- ・西中島地域活動協議会 会長：三田和夫 様 ・ザ・淀川 編集長：乃美夏絵 様
- ・ホテルプラザオーサカ：大川秀樹 様 ・十三中学校 PTA OB：新舛洋子 様
- ・木川地区民生委員児童委員協議会 委員長：安西義忠 様

に貴重なお時間を頂きました。ご協力有難うございました。



面接前の打ち合わせ。質問する内容などを確認し、より本番の面接に近い状態にします。



面接風景。質問に対する答えだけでなく、姿勢や手の位置などを確認して、アドバイスをいただきます。



裏面に  
つづきます

平成27年1月25日（日）12：30～16：30会場：淀川区役所5階でおこなわれた 絵本展「ものがたりのちから」に十三中学校生徒会と2年生の有志の皆さんが、防災紙芝居「もし淀川が決壊したら」で出演されました。この紙芝居は平成23年の夏におこなわれた「～わがまちの防災を考える 減災に向けて～紙芝居づくり」で作成されたもので、これまでも「淀川河川敷フェスティバル」などで披露しています。

出演するにあたり、それぞれクラブや勉強で忙しい中、2年生の職場体験が終わってから学校に集まり、時間を割いて練習をしてくれました。

本番では緊張したと思いますが、堂々と発表する姿に、会場に来ていた小さな子ども達は少し難しい内容にかかわらず真剣に見ててくれていました。

きっと制服姿のお兄ちゃん、お姉ちゃん達を「中学生ってスゴイなあ～」と思って見てくれていたのだと思います。来場者アンケートでも「中学生の紙芝居が良かったです。大人ではない、お兄ちゃんお姉ちゃんからの働きかけが心に残ったように思います。」との声をいただきました。（淀川区ホームページより）

今回、メンバーが足りず思案していた所、生徒さんの方から「僕、声を掛けてみます！」と提案してくれました。突然の話なのに引き受けてくれた女の子達は練習でも積極的に意見を出してくれました。嬉しかったです。ありがとうございます。

この経験をいろんな場面で活かしてくれればと願います。



拍子木（ひょうしき）で「カン、カン、カ～ン」と、スタートします。  
当日お借りしたので、練習出来なかったのに関わらず、上手にできました。

## 絵本展「ものがたりのちから」の様子



紙芝居は、めくるタイミングも重要です。  
分かりやすいように、差し棒を使って説明する場面もありました。



十三中学校で取り組んでいる「防災スクール」も紹介しました。



会場の様子。当日は約350名の方が来場されました。

